

科目名(Subject)	異文化研究と英語教育 (Intercultural Studies for TEFL/TESL)		
単位数(Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	高橋 優季 (Yuki Takahashi)	研究室番号 (Office)	524
Office Hours	11:00~17:00		
1. 授業目的・方法(Course objective and method)			
<p>今年度のテーマは「ファンタジー小説を読む」です。</p> <p>作品は Alan Garner の <i>The Moon of Gormath</i> (『ゴムラスの月』 (1963)) を読みます。「ハリー・ポッター」や「ファンタスティックビースト」のシリーズよりも先だって発表され、数あるモダン・ファンタジー小説のなかでも名著に数えられている本作の精読に挑戦します。児童文学としても評価の高い作品なので、青少年以上の読者の感性や想像力を育てるのに適した小説ともいえます。</p>			
2. 達成目標(Course Goals)			
<p>分量のまとまった英文に読み慣れること、が英語の実践面における目標です。</p> <p>毎回 20 ページ以上の英文を当たり前のこととして読んでいきます。一語一句分からない言葉を辞書で引いたり文脈から判断したりなどして、英語の文章を丁寧に読み込むことで、作品世界のイメージと物語内容の理解を深められることを目指します。そのため、英文を素早く的確に読解するための実践的なトレーニングにもなります。</p> <p>その上で、本作のみならず多くのファンタジー小説一般にも共通してみられる創作要素として重要な神話や伝説などヨーロッパ文化圏に浸透している文化的教養を身に付けると共に、パラレル・ワールド的な時空間の設定などを通して現代小説の物語の構成について意識を持てるよう講義を進めていきます。</p>			
3. 授業内容(Course contents)			
第 1 週 作品概要の把握。登場人物、舞台設定などを確認。			
第 2 週 序章として前作にあたる <i>The Weirdstone of Brisingamen</i> (1960) の前半内容確認。			
第 3 週 前週に続いて上記作品の後半内容確認。			
第 4 週 この週からメインとなる <i>The Moon of Gormath</i> 精読開始。1, 2 章。			
第 5 週 作品精読。3, 4 章。			
第 6 週 作品精読の続き。5, 6 章。			
第 7 週 作品精読。7, 8 章。			
第 8 週 作品精読をつづけるが、慣れてきたところで分量を少し増やし、9~11 章を扱う。			
第 9 週 前週に続いて 12~14 章まで、合わせて 3 章分進める。			
第 10 週 最終場面まで、15~17 章。			

第 11 週 物語創作の要素について。ケルト神話、妖精信仰、口承伝承による民話の文化的影響。

第 12 週 物語創作の要素について。スカンジナビアなど北欧神話の影響を考察する。

第 13 週 作者 Alan Garner の故郷であり作品の舞台であるイングランドのチェシャー州について、文化誌的資料や観光案内をもとに探求する。

第 14 週 作者 Alan Garner について。本人の自伝 *Where shall we run to?*(2018)を中心に、Garner 本人の幼少時のルーツについて学ぶ。

第 15 週 作者 Alan Garner について。本人の講演・エッセイ集 *Voice that Thunders* (1997)を中心に、Garner の作家としての思想や文芸創作に対する姿勢について学ぶ。

#### 4. 事前学修・事後学修(Preparation and review)

毎回の授業において

(予習事項)

毎回 20 ページ前後の英文を読み進めることとなります。事前によく読み内容を把握してくるの絶対条件となります。講義では毎回の予習内容の要約発表が問われます。その上で、理解に自信がなかったり疑問に感じる部分を明らかにしておくこと。

(復習事項)

授業を通して自分たちの理解がどう変わったか、事前の疑問点が解決したかを確認し、作品解釈における英文理解を改めて見直す (→後にレポートして出していただくこととなります)

#### 5. 使用教材(Teaching materials)

Alan Garner. *The Moon of Gomrath*. London: Harper Collins, 1963

*The Weirdestone of Brisengamen*. London: Harper Collins, 1960.

を使用。詳細は教室で指示します。

また、上記シラバス中の *Where shall we run to?*(2018)と *Voice that Thunders* (1997)の二点については、全編読むわけではないので、必要箇所をこちらで用意します。

ほかに参考教材：

アラン・ガーナー作／久納泰之訳『ゴムラスの月』(評論社、1970年)

アラン・ガーナー作／芦川長三郎訳『ブリジンガメンの魔法の宝石』(評論社、1969年)

#### 6. 成績評価の方法(Grading)

授業への参加度 (毎回の作品内容の要約説明) 75%

レポート提出 (詳細は授業内で指示します) 25%

#### 7. 成績評価の基準(Grading Criteria)

「可」を合格ラインとします。具体的な評価基準は、評価確定後、文書にて通達します

#### 8. 履修上の注意事項(Remarks)

辞書を持参しましょう。